

手引き1

指示語に強くなる!

指示語を正しく理解することは、文や言葉のつながりを正しくとらえるためにとっても重要なことなんだよ。
文や言葉のつながりを正しくとらえる力は、内容の把握にも、構成の把握にも絶対に必要な力だからね!

一、指示語って?

「こ・そ・あ・ど」が頭に付くので、「こそあど言葉」といいます。

前後の文や文中の言葉を指し示す言葉で、物事・場所・方角・状態などを指し示したり尋ねたりするときに使います。

指示語は繰り返しを避けるために用いられるものです。だから基本的には指し示す内容は指示語より前にあります。

二、指示語の問題「攻略法」

1、指示語が指し示す内容は、指示語より前にあり!

指示語より前の部分を探す。
ほとんどの場合、指示語の指す内容は前の部分に書かれている。
前になければ、後ろを探す。
前でなく、後ろにある場合もまれにあることを覚えておこう。

2、指示語には距離感があることをつかめ!

「こ」「そ」「あ」は「話し手」「聞き手」らの距離や位置によって使い分けてある。

3、複数と単数を意識せよ!

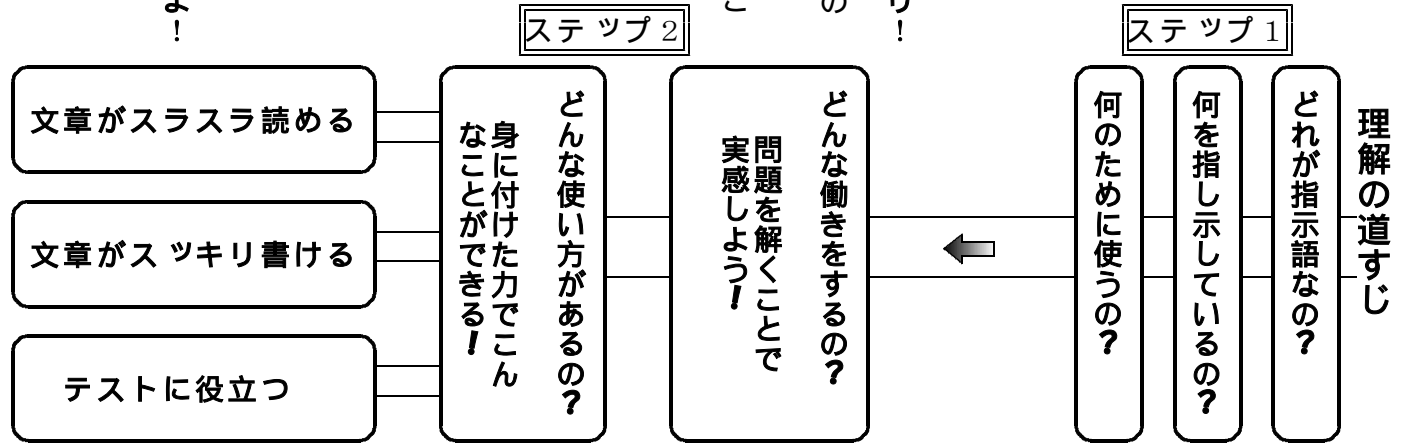
「これ」「それ」「あれ」は単数なので指すものは一つだが、「これら」「それら」「あちら」は複数なので指すものは二つ以上ある。答え方に注意!

4、指示の内容を問われたときは名詞(体言)で答えよ!

名詞を最後にもってくる。
形容詞・形容動詞そのまま名詞の上に付ける。

5、最後に指し示す内容をあてはめてみて確認せよ!

動詞は主語に続けて名詞の前にもってくる。主語を「が」「か」の形に変える。
指示語の指す内容が分かったら、指示語の代わりにその部分を入れてみる。意味が通れば正しい。



ステップ1

ステップ2